



# しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

## なつ休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2023年版]

	しよめい さくしやめい しゅっぱんしゃ	ないよう		しよめい さくしやめい しゅっぱんしゃ	ないよう
えほん	<p>「ママはかいぞく」</p>  <p>カリーヌ・シュリュグ ぶん レミ・サイヤール え やまもとともこ やく 光文社</p>	<p>ぼくのママは海ぞくで、たからのしまをめざしてたびをしています。てきとゆうかんにたたかっているママは、かっこいい。でも、たびから帰ってきたママは、いつもとつつかれていません。ママがたたかっているのは乳(にゆう)ガンというびょうきなのです。</p>	としよ	<p>「かずさんの手」</p>  <p>佐和 みずえ 作 かわい ちひろ 絵 小峰書店</p>	<p>みかのひいおばあちゃんのかずさんは96才で、手あそびをするその手もしわしわです。でも、その手はむかしせんそうでたくさんのケガ人が出たとき、かんごしをしていたかずさんが、ケガ人の手をにぎり、ずっとはげましていた手なのです。</p>
えほん	<p>「タコとイカはどうちがう？」</p>  <p>峯水 亮 写真 池田 菜津美 文 杉本 親要 監修 ポプラ社</p>	<p>タコやきやイカリング、食べものとしてみぢかにあるタコとイカって、どうちがう？うでの数、およぎ方、すんでるところ…。タコとイカのちがいを、しゅしんとイラストでくわしくしょうかいしています。</p>	としよ	<p>「おかあちゃんにきんメダル!」</p>  <p>いどき えり さく おしの ともこ え 国土社</p>	<p>よしおのおかあちゃんは、むかし、こうつうじこにあって右手におおかげをしてから、いたいのも、あついのも、わからなくなっていました。ニンジンやタマネギがコロコロとよくころがってくるけれど、おかあちゃんはかた手でなんでも上手にできることを、よしおは気づきました。</p>
えほん	<p>「あべ弘士のシートン動物記 1」</p>  <p>オオカミ王ロボ E.T.シートン 原作 あべ 弘士 文・絵 学研プラス</p>	<p>カランポーの広いへいげんには、強くて気高いオオカミのむれがいました。中でもいちばん大きいロボというオオカミはかしく、つかまえようとした人間の作せんは、しゅぱいしてばかりでした。しかし、とうとうロボの弱点をはっけんしたのです。</p>	としよ	<p>「8・9・10!」</p>  <p>板橋 雅弘 作 柴崎 早智子 絵 岩崎書店</p>	<p>小学四年生のわたしが、いつも行く小さな広場でダンスをしていると、見知らぬおじさんがいました。いつの間にか、となりでダンスをはじめたおじさんは、くるりとバクテンをきめました。すごいすごい、教えてもらいたい！名前も知らないおじさんとの、ゆるくてあたたかいお話です。</p>
えほん	<p>「きつね山の赤い花」</p>  <p>安房 直子 作 えがしら みちこ 絵 マイクロマガジン社</p>	<p>ゆみ子が人形をおぶってなの花ばたけに歩いて行くと、赤いリボンをつけた子ギツネの女の子が人形をおぶっておまごをしていました。「はっばさん はっばさん おさらになあれ」とうたう子ギツネを見ていると、いっしょにおまごをしたくてたまらなくなりました。</p>	としよ	<p>「こわいものなしの六人」</p>  <p>グリム 原作 竹下 文子 文 こば ようこ 絵 あかね書房</p>	<p>ゆうかんなへいたいは、たたかいがおわるとどうか3まいでクビになってしまいました。たくさんかまをあつめて、ケチな王さまからおたからをうばってしまおうとかがえます。やさしいぶんしょうと、たのしいイラストでグリムどうわのおもしろさがつまったおはなしです。</p>
えほん	<p>「ちいさなしまのだいもんだい」</p>  <p>スムリティ・プラサー ダム・ホールズ 文 ロバート スターリング 絵 なかがわ ちひろ 訳 光村教育図書</p>	<p>むかし、たすけあいながらなかよくくらしていたどうぶつたちは、村はずれの小さなうつくしいしまが大すきでした。ある日、しまにすむガチョウはじぶんたちだけでくらそうと、ほかのどうぶつたちが入ってくるのができないように、はしをこわしてしまいました。</p>	としよ	<p>「星おとし」</p>  <p>宇佐美 牧子 作 下平 けいすけ 絵 文研出版</p>	<p>なつ休みにおばあちゃんのおねがごと「ことみ」。だいじなねがごとをしている子には、お星さまがおちてきてねがいをかなえてくれるとおしえてくれたおばあちゃんが、びょうきになり…。「そうだ、あの星をおとしみよう！」びょうきが早くよくなるように、おねがごとをしました。</p>